

# 「岩国地域協育ネット」構築に向けた取組について

【岩国市 岩国中学校区】

## 地域の概要

岩国地域は、吉川藩の城下町として栄えてきました。地域一帯は錦帯橋や岩国城に象徴される風光明媚な観光地であり、年間を通して多くの観光客が訪れます。

藤河地区や御庄地区は、近年アパートや一戸建てが建ち並び、人口が増加しています。

地域には、岩国の歴史に詳しい方や錦帯橋の架け替えにかかわった方等、子どもたちが郷土の学習をする上で講師をお願いできる方がたくさん居住され、人的財産に恵まれた地域といえます。

人口	18,330人	
世帯数	8,376世帯	
対象校及び 児童生徒数	岩国中学校	470人
	御庄小学校	154人
	藤河小学校	113人
	柱野小学校	19人
	岩国小学校	762人

## 組織の内容

岩国中学校は約10年の間に柱野中学校・藤河中学校と相次いで統合し、さらに今年から御庄小学校区も通学区域として認められ、生徒は岩国・柱野・藤河・御庄の4地区から通学しています。

昨年度、岩国中学校区内の御庄小学校を除く3つの小学校と岩国中学校で岩国中学校区小・中学校連絡協議会を立ち上げ、主に生徒指導上の問題等について情報交換をしてきました。また、今年度からは、御庄小学校も加わり、小・中学校連絡協議会は更に大きな組織になりました。

岩国中学校では、平成23年度7月に学校運営協議会を設置しましたが、岩国中学校区には、各地区を結びつけるような社会的な組織がなかったので、この小・中学校連絡協議会をもとに岩国地域協育ネットを構築することを選択しました。

こういった既存の組織をもとに、初年度は学校主体で活動を始め、準備委員会事務局を岩国中学校におき、各学校から代表者1名と地域協育ネットコーディネーター3名を準備委員会の構成員として、来年度からの立ち上げに向けて準備を進めてきました。コーディネーターは、岩国地区青少年育成協議会長、藤河地区連合自治会長、岩国地区教育相談員に依頼しました。現段階での地域協育ネット協議会の構成・組織のイメージは右図のように考えています。

岩国地域協育ネットのねらいは、「学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみで子どもを育てることをめざして」としました。

今年度は、現在まで4回の準備委員会を開催しましたが、その会の中で毎回必ず議題として取り上げてきたのは、地域の子どもの実態把握のための情報交換です。この会の中で、各地区の子どもの生活の様子について意見を述べ合い、どのような活動をすれば子どもたちがよりよい変容をするかを話し合ってきました。

今まで、各学校においては、職場体験学習や総合的な学習の時間等で各地域の特色を生かし、また地域のすぐれた人材を活用した様々な学習を展開してきましたが、各学校の実情もあり、少し温度差があります。今後は、各学校の活動内容の情報交換を一層進め、広い岩国地域の特色を生かした地域の人材活用について、今まで以上に力を注いでいき、地域ぐるみで子どもを育てることを実践していきたいと考えています。

